



電子証明書を使った安全なログイン認証

NRA-PKIクライアント証明書 製品紹介資料

会社概要



会社情報

会社名	日本RA株式会社 Nippon Registry Authentication Inc.
設立年月日	2011年6月27日
代表者	小川秀人
資本金	¥100,000,000
所在地	東京都港区東新橋2丁目1番6号 プリプラビル5階
主要取引先	株式会社大塚商会 株式会社オービックビジネスコンサルタント SB C&S株式会社 株式会社ネットワールド 株式会社TKC JIG-SAW株式会社 サイオステクノロジー株式会社 電力・ガス・鉄道・保険・通信キャリア・ 地方自治体、国公立大学、教育機関等

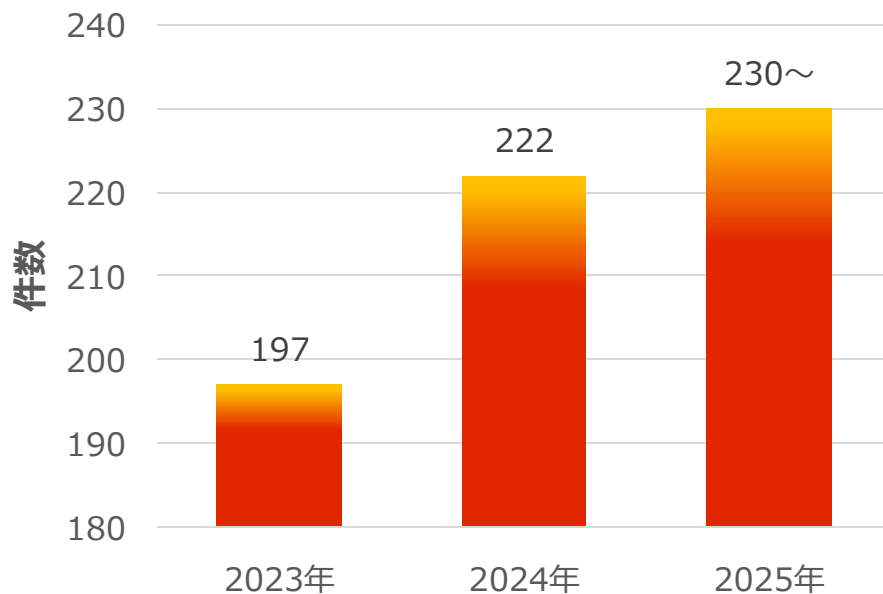


ミッション

ネットワーク社会を支える認証技術を極め、
安価かつフレキシブルな形態で提供することによって、
世界の人々の安全で快適な情報利用に貢献する。

情報セキュリティ脅威の現状

ランサムウェア被害件数の推移



国内被害は高止まり傾向

警察庁の統計によると、2024年のランサムウェア被害報告は222件に達しました。2025年もその勢いは衰えず、被害が高止まりの状態が続いています。



アジアで3年連続最多被害

日本はアジア地域において最も多くの被害を受けています。生成AIの悪用やRaaSの成熟により、攻撃がさらに高度化・巧妙化しています。



経営への甚大な影響

システムの暗号化による操業停止、機密データの漏洩、身代金要求に加え、多額の復旧対応コストなど、企業の存続を脅かす事態に発展しています。

出典：警察庁および各種セキュリティレポートを基に作成

ランサムウェア被害事例



事例1：某大手食品流通メーカー(2025年)

【被害内容】

約191万件の個人情報漏洩の可能性
商品出荷、コールセンター運営停止

【影響範囲】

サプライチェーン全体に波及、他社の出荷制限
顧客対応、復旧対応コストの増大



事例2：某情報サービス企業(2026年)

【被害内容】

50万件以上の個人情報＋マイナンバー流出リスク
複数自治体・大学へ波及

【影響範囲】

サプライチェーン攻撃により9組織以上へ被害拡大
行政サービス・教育機関の運用に支障



事例3：某医療機関(2026年)

【被害内容】

約13万件の個人情報が漏洩
医療関連システムへの不正アクセス・侵入

【影響範囲】

医療サービスの一部遅延、運用制限
患者対応・信頼低下に影響

なぜ「認証の強化」が重要か



認証・認可の破綻を狙う攻撃

サイバー攻撃の初期侵入ベクトルの多くは、認証情報の窃取や脆弱な認証システムの突破から始まります。



ID/パスワード単独の限界

従来のIDとパスワードのみの認証では、高度化するフィッシング攻撃やパスワードリスト攻撃に対し非常に脆弱です。



ゼロトラストへの第一歩

「決して信頼せず、常に検証する」
ゼロトラストセキュリティモデルを実装するためには、
強固な本人認証が不可欠です。



端末起点のリスク管理

テレワークの普及により、端末の持ち出しや紛失リスクが高まっており、ユーザーだけでなく「どの端末からのアクセスか」も同時に管理する必要があります。

強固な認証が、セキュリティの要となります

システムへの入り口を厳格に保護し、不正アクセスのリスクを根本から断つことが重要です

「クライアント証明書認証」とは

「クライアント証明書認証」とは、正規の証明書がインストールされた端末を識別する認証方式です。

 **電子的な身分証明書(X.509)** アクセスしてくる利用者や端末の本人確認を行うための電子的な身分証明書です。暗号的な技術により、正規の利用者・端末であることを確実に識別・証明します。

 **なりすましやフィッシングを防止** TLSクライアント認証を用いることで、万が一ID・パスワード情報が漏洩した場合でも、証明書のない端末の不正アクセスをブロックし、セキュリティ事故を未然に防ぎます。

 **柔軟で多用途な展開** ID基盤(IdP)、VPN、プロキシ、Webアプリケーションなどと連携し、従来の認証に代わる(併用する)多要素認証として、様々な環境に適用できます。



利用者・端末



電子証明書



社内/SaaS等

「誰が」「どの端末で」アクセスしているかを確実にする認証

ID・パスワード認証のように「知っていれば」アクセスできる状態から、証明書をインストールした端末を持っていないと、アクセスできない状態とすることが可能です。

クライアント証明書認証の利用用途



Windowsログイン／ドメイン認証

パスワードに代わり、証明書を利用してWindowsへ安全にログインします。Active Directoryと連携し、社内ポリシーで許可された端末からのアクセスのみを厳格に制御します。



VPN・リモートアクセス連携

SSL-VPNやIPSec VPNの認証にクライアント証明書を利用します。自宅や外出先から社内ネットワークへの安全なアクセス基盤（テレワーク環境）をすばやく構築可能です。



Webシステム・SaaSアクセス制御

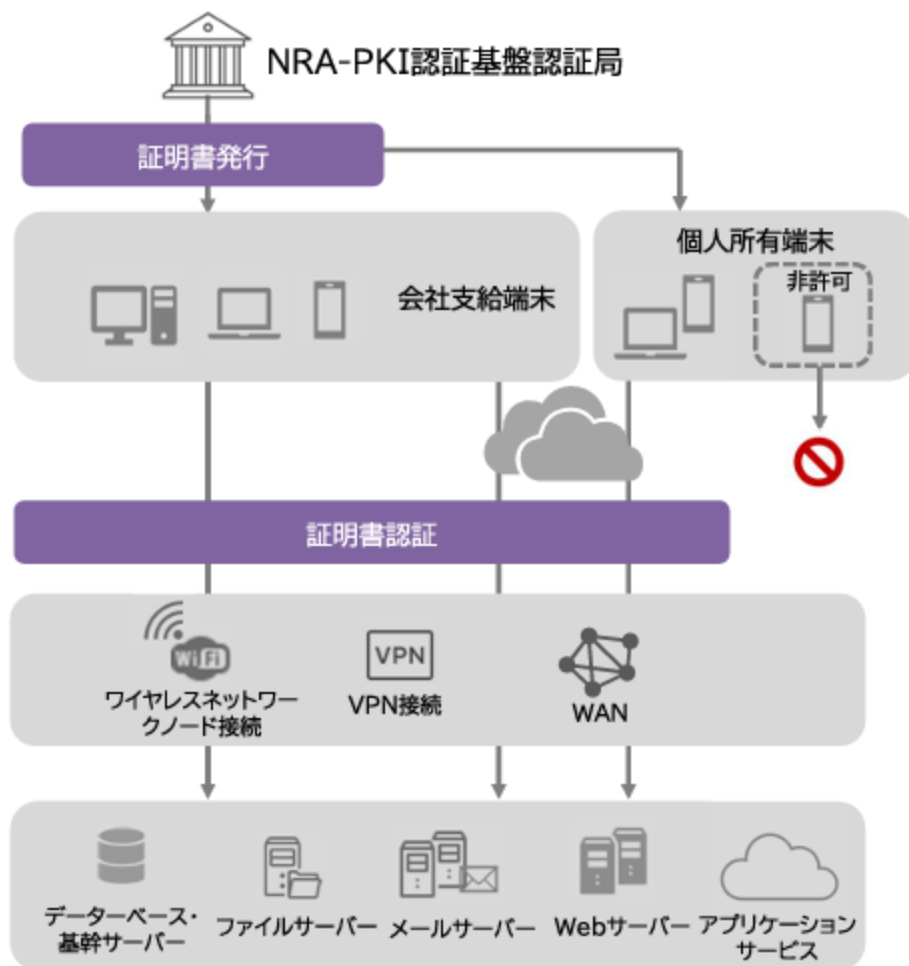
社内ポータル、各種業務Webアプリケーション、Microsoft Entra ID (旧Azure AD) をはじめとするクラウドサービスに対する強力なアクセス制御とパスワードレス認証を実現します。



ネットワーク認証・その他

無線LANや有線LANの802.1X/EAP-TLS認証によるネットワーク接続制御、およびセキュアメール (S/MIME) などの用途で幅広く利用可能です。

クライアント証明書認証の流れ



1.ご注文受付



2.管理者用証明書の発行



3.利用者登録、証明書配布



4.利用者端末へインストール



5.接続要求・認証



6.アクセス許可

NRA-PKIクライアント証明書の特徴



1ライセンスでマルチデバイス対応

ユーザーは1ライセンス分の料金で、パソコン、スマートフォン、タブレットなど、業務で使用する複数の機器に証明書をインストールして利用することができます。マルチデバイスでの業務が当たり前となった現代に最適です。



SaaS提供で初期費用ゼロ

クライアント証明書の発行・管理に必要な機能をSaaS形式で提供しています。自社内で専用の認証局（CA）を構築・維持する必要がないため、初期費用がかからず、従来の導入コストを数十分の1に圧縮可能です。



圧倒的なコストパフォーマンス

用途に合わせた2種類の証明書を安価に提供します。通常証明書は1ライセンス「2,640円/年」、Microsoft Entra ID CBA対応証明書は「3,300円/年」です。

※別途CA基本利用料（79,200円/年～）が必要です。
価格は参考小売価格です。



運用管理の省力化

直感的で使いやすいWebベースの管理画面を提供しています。証明書の新規発行から、配布、更新、不要になった証明書の失効手続きまでを一元的に管理でき、システム管理者の運用負荷を大幅に軽減します。

他社類似製品との比較

比較項目	他社製品A	他社製品B	NRA-PKI
ライセンス形態	ユーザー単位 または デバイス単位	デバイス単位 (1台につき1ライセンス)	マルチデバイス対応 (1ユーザーで複数端末利用可)
WebAPI / 連携	一部対応 (有償オプション)	非対応	標準対応 (SaaS連携・M365 CBA対応)
端末制限機能	MACアドレス制限等の簡易制御	なし	厳格なデバイス認証オプション (許可端末のみアクセス可能)
価格・コスト	高額 (初期費用＋高価なライセンス)	中程度 (複数端末時は割高に)	圧倒的な低コスト (初期費用無料、SaaS提供)
CA運用体制	海外データセンター運用	自社構築 (運用負荷・セキュリティリスク高)	国内の安全な認証局 (サイバートラスト電子認証センター)
導入までの期間	1ヶ月～	数週間～数ヶ月	最短数営業日～ (迅速なテレワーク環境構築が可能)

NRA-PKIクライアント証明書 基本仕様

基本仕様一覧

対応プラットフォーム	Windows / macOS / iOS / iPadOS / Android
主な認証対象	VPNアクセス / Webアクセス / Windowsドメインログオン / Microsoft 365 等
証明書の種類	通常証明書 / Microsoft Entra ID 証明書ベース認証 (CBA) 対応証明書
ライセンス期間 / 有効期間	1年間 または 5年間
ライセンス形態	マルチデバイス対応（1ユーザーライセンスで複数端末にインストール可能）
CA（認証局）運用体制	サイバートラスト電子認証センター内での安全な運用（国内データセンター）
配布方法	管理画面からのダウンロード、MDM連携、Web APIを通じた自動配布
初期費用	無料（SaaS提供により自社認証局の構築不要） ※証明書のご利用には別途CA基本利用料が必要となります
オプション機能	デバイス認証オプション（あらかじめ登録・許可された特定端末のみアクセス許可）

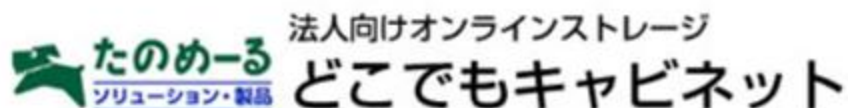
導入事例

NRA-PKIクライアント証明書 累計発行枚数： 750,000枚 ※2022年1月時点



OBCマイナンバーサービス

OMSS + OBCマイナンバーサービスに標準搭載
マイナンバー収集・管理・廃棄など、アクセス時の証明書認証



どこでもキャビネット

「ファイル共有」「ファイル送受信」「名刺管理」の3つの機能を
マルチデバイス対応で提供



WaWaOffice

グループウェアを中心に、SFA、ワークフロー、データベース、
WEB社内報などのサービスを提供



FortiGate SSL-VPN

社内配布すべてのスマートフォンに導入
SSL-VPNによるアクセス時の証明書認証

その他、大手鉄道会社様、大手コンビニ様、家電メーカー様、証券会社様、自動車会社様、外資人材派遣会社様、
保険会社様、運送会社様、食品会社様、精密機器メーカー様といった様々な業種の企業様で導入いただいております

大塚商会「どこでもキャビネット」とWebAPI連携

提供元：株式会社大塚商会



どこでもキャビネットは法人向けのオンラインストレージサービスですが、その性質上お客様からのセキュリティに対するニーズは高い傾向にありました。NRA-PKIクライアント証明書による端末認証により利用端末が限定することで、“なりすまし”を完全に排除することができ、セキュリティに敏感な企業でも安心してご利用いただけるようになりました。

OMSS + OBCマイナンバーサービスへ標準搭載提供

提供元：株式会社オービックビジネスコンサルタント



個人番号を自社内で保管することは、**漏えい等のリスク**を抱えることとなり、**厳重な安全管理**が必要です。このサービスでは、自社内ではなくクラウド上に保管することで、漏えい等のリスクを低減します。堅牢な日本のデータセンターへの保管、**NRA-PKI クライアント証明書認証**と**SSL暗号化によるデータ通信**などの**高度なセキュリティ環境**で、**安全な番号保管・運用が可能になります**。

社内向けMicrosoft365認証での利用

提供元：株式会社ワイイーシーソリューションズ



Microsoft 365導入にあたり、私用端末からのアクセスやテレワーク時のセキュリティリスクに対応するため、NRA-PKIクライアント証明書（CBA対応版）を採用。
業務端末に限定した認証を実現し、セキュリティを担保しながら柔軟なクラウド利用環境を整備しました。
導入後は大きなトラブルもなく、ユーザー側の操作負荷も少ない形で運用されています。

お問合せ先



コーポレートサイト
<https://www.nrapki.jp/>



お問合せご連絡先
salescontact@nrapki.jp



日本RA株式会社
Nippon Registry Authentication Inc.